

第十二回 九州公演 喜多流

# 塩津能の會

11月24日 一日

開場 12時30分

開演 13時30分

会場 大濠公園能楽堂

おはなし

舞囃子

「三輪」

塩津哲生

狂言

「文荷」

野村万緑

能

「烏頭」

塩津圭介  
塩津希介

SHIOTSUNO  
THEATER

能は室町時代に成立されたとされる歴史ある舞台演劇です。能のストーリーは人生の中の一瞬を切り出して、その瞬間を舞(動き)と譜(セリフ)と囃子(楽器)に乗ってゆっくりと物語が進んでいきます。その瞬間をじっくりと自分なりに解釈してみてください。不思議と時代を超えて私たちの人生の一コマとも繋がってくるのではないのでしょうか。見る人によって感想が異なる能の世界はまさしく芸術舞台です。

# 塩津能の會

第十二回 九州公演 喜多流

## 番組

能		狂言		舞囃子		おはなし	
後シテ 前シテ ツレ 子方 ワキ アハ 笛 小鼓 大鼓 後見 地謡	鳥頭	シテ 大隠 アト 小アト 二隠	文荷	シテ 三輪	塩津圭介	シテ 三輪	塩津圭介
御厨誠吾 吉良博靖 相原一彦 林 大和 白坂保行 塩津哲生 佐々木多門	狩野祐一 塩津圭介 塩津圭介	野村万緑 吉住 謙 杉山俊広	工藤義彦 佐々木多門 金子敬一郎 狩野了一郎	白坂保行 吉谷 潔 狩野了一郎 金子敬一郎	塩津哲生 相原一彦 林 大和 白坂保行 吉谷 潔	長島 茂 狩野了一郎 金子敬一郎 粟谷充雄 大島輝久 工藤義彦	

**塩津哲生**  
1945年喜多流職分塩津清人の長男として熊本に生まれる。1959年に15世喜多流宗家故喜多史の内弟子として上京、入門。その後「道成寺」「権垣」「伯母捨」など数々の大曲秘曲を披露。紫綬褒章受章。塩津能の會主宰。重要無形文化財総合指定。全国各地に哲門会を展開、指導にあたる。

三輪山の山すそに住み、修行をする高僧、玄奘僧都のもとに権や水を手向けに毎晩訪れる女がいました。今宵も訪れた女は、「秋が深まって、夜の寒さが強く感じられるので着物を一枚恵んで欲しい」と頼みます。容易いことと着物を渡し、女の住まいを尋ねると、「不審に思うようであれば、三輪の里の山の麓から近い、杉の立っている門を目にしに訪ねてください」と言われて消えてしまします。しばらくすると、里の者が三輪の神杉に玄奘僧都の衣が掛かっているのを見て不思議に思い、僧都の住まいを訪ねました。僧都がその杉の下に行ってみると、確かに女に与えた着物が掛かっています。やがて、三輪明神が現れ、三輪の神話を語り、天照大神岩戸隠れの故事と神楽の起りを見せ、夜はほのぼのと明けていくのでした。今回は、三輪明神が岩戸隠れの故事と神楽の起りを見せる部分を紋服、袴姿で上演します。

## 三輪

Miwa



**塩津圭介**  
1984年喜多流職分塩津哲生の長男として東京に生まれる。2008年東京学芸大学教育学部卒業。APU立命館アジア太平洋大学非常勤講師。若者へ能を広める活動として「若者能」を立ち上げ、毎年公演。福岡、熊本、札幌をはじめ、全国各地に稽古場を展開し、指導者としても活躍している。

ある旅僧が、越中の立山(今の富山県立山連峰)から陸奥へ下る途中に一人の老人(漁師の霊)に呼び止められます。老人は、漁師であったが、去年の秋に亡くなったと言ひ、養笠を手向けてほしいと妻子への伝言を頼むのでした。そのしるしとして、自分の着ていた片袖を渡します。旅僧は、寂しく暮らす妻子を訪ね、預かった片袖を渡すと、妻子は喜んで形見の着物を取り出して合わせると、伝言の通り正しく合うので、涙ながらに回向をします。(中人)旅僧も追善供養を行う所こへ、漁師の霊が現れます。生前に犯した殺生の報いで、地獄ではこの鳥に苦しめられていることを語ります。漁師の霊は、旅僧に回向を頼んで消えていきます。

## 鳥頭

Utou



## チケット

正面特別指定席	10,000円	2列目~8列目
正面   指定席	7,000円	
脇正面   指定席	5,000円	
中正面   指定席	4,000円	
棧敷席   自由席	3,000円	

オンラインチケット申し込み

<https://kita-noh.com/schedule/16907/>  
(クレジットカード決済・コンビニ購入受取が可能です。)



大濠公園能楽堂 福岡県福岡市中央区大濠公園1-5  
TEL 092-715-2155

主催:一般社団法人 塩津能の會 後援:福岡市、福岡市教育委員会

お問合せ 塩津能の會事務局 TEL/FAX 03-3330-6803